



VOX Continental Ver.2.0は、新たに厳選された音色と、演奏などに便利な機能を追加し、より充実したステージ・キーボードへと進化しました。以下のアップグレードが行われています。

- ・ 58個の多彩な音色を追加
- ・ スプリット(分割)機能を追加
- ・ 各音色パートにダンパー効果の有効/無効が設定可能
- ・ シーン・セット機能を追加し、シーン数を16個→64個に増強
- ・ ビンテージ・オルガンに特有なノイズ量を調節可能
- ・ PIANO パートの音色のキャラクターをバンド・レバーで切り替え可能

詳しくは以降をご覧ください。

## 多彩な追加音色

以下の音色が追加されました。詳細は「VOX Continental Ver.2.0 Voice Name List」(PDF)を参照してください。

- ・ 鍵盤楽器系: スモール・グランド、アップライト・ピアノ、古楽器のフォルテ・ピアノやハーピシコード、多彩なエフェクト・セッティングを施したエレピやクラビ、FMエレピなど
- ・ アンサンブル系: ブラス・アンサンブル、テープ・ストリングス、シンセ・パッドなど

- ・ ベース系: アコースティック・ベース、エレクトリック・ベース、シンセ・ベース

音色の選び方については、「取扱説明書」8ページを参照してください。

\* PDF は、www.voxamps.com よりダウンロードしてください。

## スプリット(分割)機能

4つの音色パートORGAN、E.PIANO、PIANO、KEY/LAYERのうち、2つのパートをそれぞれ高音域側と低音域側に分けて演奏できる機能です。たとえば右手でオルガン、左手でベース等の音色が演奏できます。

### スプリット機能を設定する

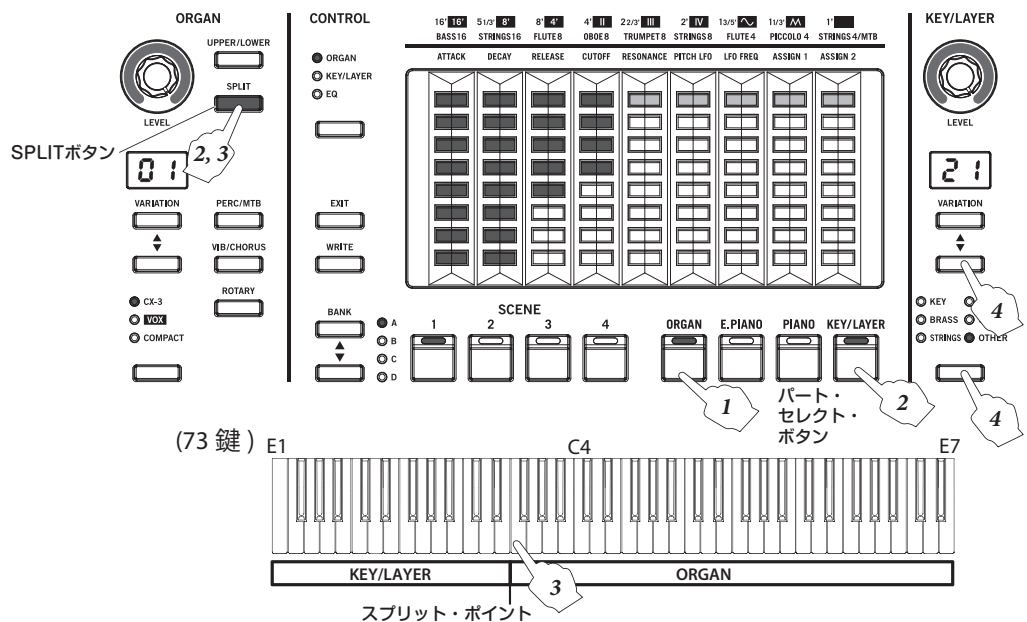
- 1 アッパー(高音域側鍵盤)で演奏する音色パートを、パート・セレクト・ボタン(ORGAN、E.PIANO、PIANO、KEY/LAYER)を押して、選びます(ボタン点灯)。(☞下図参照)
  - 2 ロワー(低音域側鍵盤)で演奏する音色パートを、ORGANパートのSPLITボタンを押しながら、パート・セレクト・ボタン(ORGAN、E.PIANO、PIANO、KEY/LAYER)を押して、選びます(SPLITボタン点滅、パート・セレクト・ボタン点灯)。
  - 3 スプリット・ポイント(分割点)を設定します。  
ORGANパートのSPLITボタンを押しながら、スプリット・ポイントに設定したい鍵盤を押します。押した鍵盤がアッパーの下限に設定されます。
  - 4 アッパーとローワーの音色バリエーションを選びます。  
アッパーとローワーの各パートのタイプ・ボタンとVARIATION ▲、▼ボタンを押して、バリエーションを選びます。
- ・ 必要に応じて、各パートの音量をLEVELノブで調節します。

**Note:** 設定を保存する場合は、シーンに保存してください。保存方法は、3ページを参照してください。

**Note:** スプリット時、ノブ、スイッチ、コントローラーの効果は以下のパートにかかります。

両パートに効果がかかる

- ・ EFFECTS、マスター・コントロール、CONTROLペダル



片パートに効果がかかる

- ・ ベンド・レバー(優先順位 1. ORGAN、2. E.PIANO、3. PIANO、4. KEY/LAYER)

**Tip:** スプリット・ポイントの初期設定はC4です。事前にシーンに保存されている場合は、その設定に従います。またオルガン用のスプリット・ポイントとは別に設定されます。

**Tip:** SPLIT ボタンの点滅は、(2つのパートによる)スプリットがオンの状態です。点灯はオルガン・スプリットがオンになっている状態です。パート間のスプリットとオルガンのスプリットは同時に使用できません。オルガンのスプリットについては「取扱説明書」13ページを参照してください。

## スプリット機能を解除する

- ・ ORGANパートの点滅しているSPLIT ボタンを押します。または、
  - ・ いずれかのパート・セレクト・ボタン(ORGAN、E.PIANO、PIANO、KEY/LAYER)を押します。
- SPLIT ボタンが消灯し、設定が解除されます。

## 音色パートごとのダンパー設定

4つの音色パートORGAN、E.PIANO、PIANO、KEY/LAYERにダンパー効果の有効(On)、無効(Off)を設定します。たとえば、ピアノとベースのスプリットで、PIANOパートはダンパー機能を有効、KEY/LAYERパートは無効にすると、ダンパー・ペダルを踏むと、ピアノの音だけにダンパー効果がかかります。

## ダンパー効果の有効 / 無効

- EXIT ボタンを押しながら、EFFECT TYPE ボタンを押します。各パートのVARIATIONディスプレイにOn、Offが表示されます。  
oF (2桁)、F (1桁): ダンパー機能が無効(Off)です。  
oN (2桁)、n (1桁): ダンパー機能が有効(On)です。
- 各パートのVARIATION ボタン ▲、▼ボタンで、有効/無効を設定します。
- EXIT ボタンを押して、設定を完了します。

**Note:** 設定を保存する場合は、シーンに保存してください。保存方法は、3ページを参照してください。

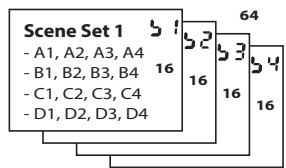
## シーンの選択と保存

シーンは、自分のよく使うバリエーションやエフェクトの設定などを保存しておき、その設定を瞬時に呼び出すものです。

1つのシーン・セットはA1~A4、B1~B4、C1~C4、D1~D4の16個のシーンのまとまりです。

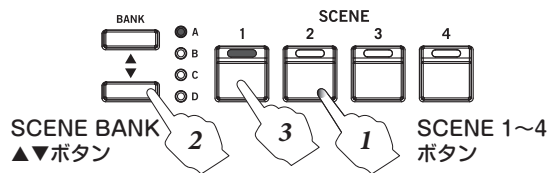
シーン・セット1(S1)~シーン・セット4(S4)の4つのシーン・セットがあり、合計64個のシーンが本機に保存できます。

**Tip:** 工場出荷時には、シーン・セット1にあらかじめ設定したシーンが用意されています。これらのシーンは上書きできます。



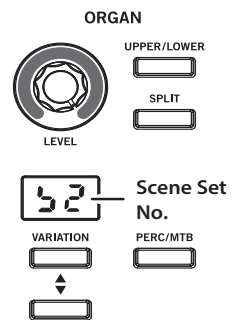
## シーンを選ぶ

- SCENE 1~4 ボタンを長押しして、シーン・セットを選びます。

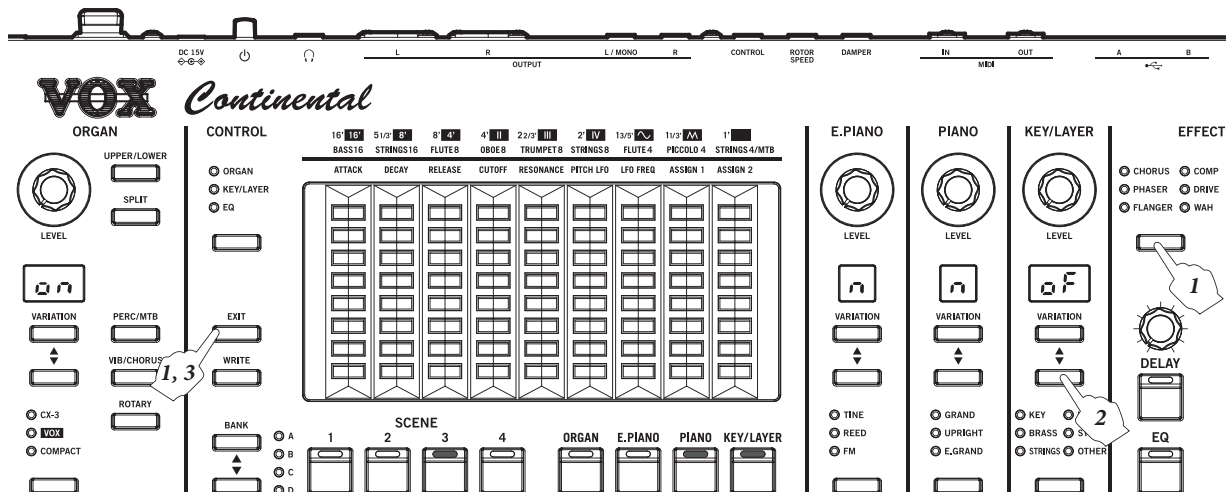


ORGANパートのVARIATIONディスプレイにシーン・セットS1~S4が表示され、バリエーション番号に戻ります。

- BANK ▲、▼ボタンを押して、バンク(A~D)を選びます。(A~D LED点灯)
- SCENE 1~4 ボタンを押して、シーン(1~4)を選びます。  
保存されたシーンが呼び出され、その音色を演奏することができます。



**Note:** パートのバリエーションやエフェクト、オクターブなどのシーンに保存された設定を変更すると、現在選択されているSCENE ボタンが点滅します。点滅しているSCENE ボタンを押すと、変更は取り消され、保存されていた状態に戻ります。



## SCENE 1～4 ボタンに保存する

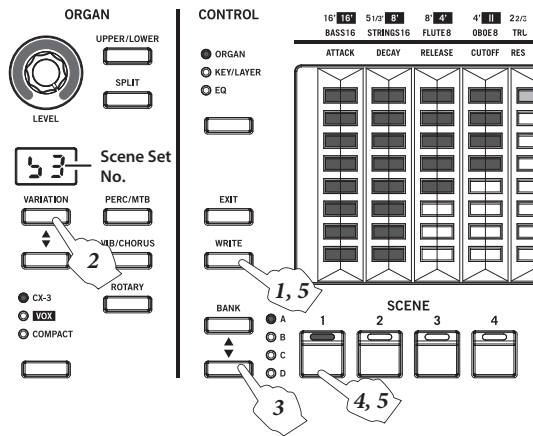
VOX Continental上での音色設定はシーンとして保存できます。

**Note:** パート・セレクト・ボタン、各音色パート、タッチ・センサー、EFFECTSコントロール(EQを除く)、バンド・レバー、オクターブ、トランスポーズ、ダンパー効果の有効/無効の各設定が保存されます。

**Note:** シーンに以下の設定は保存されません。

EQ、VOLUME ノブ、VALVE DRIVE ノブとボタン、DYNAMICS ノブとボタン、CONTROL ボタン

- 1 WRITE ボタンを押します。(☞ 下図参照)  
SCENE 1～4 ボタンが点滅し、ORGAN パートの VARIATION ディスプレイにシーン・セット S1～S4 が表示されます。
- 2 ORGAN パートの VARIATION ▲、▼ ボタンを押して、シーンを保存させるシーン・セット S1～S4 を選びます。
- 3 BANK ▲、▼ ボタンを押して、シーンを保存させるバンクを選びます。  
A～D LED が点灯します。
- 4 SCENE 1～4 ボタンを押して、登録させるシーンを選びます。  
押した SCENE ボタンだけが点滅します。
  - EXIT ボタンを押すと、保存操作がキャンセルされます。
- 5 同じ SCENE 1～4 ボタンを再度押すと、指定したバンクのシーンに音色が保存されます。  
保存したシーンの SCENE 1～4 ボタンが点灯します。  
WRITE ボタンを押すことによっても保存できます。



## シーン・データのセーブ

本機に保存したシーンを1シーン・セット(16個のシーン)単位で、USB A端子に接続したUSBストレージ・デバイス(市販)に、データ・ファイルとしてセーブ(保存)します。

- 1 セーブするシーン・セットを本体で選びます。  
本書「シーンを選ぶ」手順1を参照してください。
- 2 「取扱説明書」23ページ「13. シーン・データのセーブ」の手順1～4を行い、セーブを実行します。

## シーン・データのロード

USBストレージ・デバイス(市販)に保存した1シーン・セットを本体にロードします。

- 1 ロード先のシーン・セットを本体で選びます。  
本書「シーンを選ぶ」手順1を参照してください。

- 2 「取扱説明書」23ページ「14. シーン・データのロード」の手順1～5を行い、ロードを実行します。

☛ ロードを実行すると、本体の同シーン・セットのデータは上書きされますので注意してください。

## ORGAN音色のノイズ量調節

ビンテージのオルガンには、演奏していないときもノイズが発生するものがあります。VOX Continentalではこれらのノイズを再現しています。Ver. 2.0ではこのノイズ量を調節できます。

### ノイズ量の調節

- 1 ノイズ量を調節したいオルガン音色を選びます。  
「取扱説明書」8ページを参照してください。
- 2 EXIT ボタンを押しながら PERC/MTB ボタンを押します。  
PERC/MTB ボタンが点滅し、ORGAN パートの VARIATION ディスプレイだけが点灯します。
- 3 LEVEL ノブを回す、または VARIATION ▲、▼ ボタンを押してノイズ量を調節します。  
0～100の範囲で設定することができます。  
OFF : 0  
ON : 100
- 4 PERC/MTB ボタンを押して設定を確定します。  
EXIT ボタンを押すと、設定がキャンセルされます。

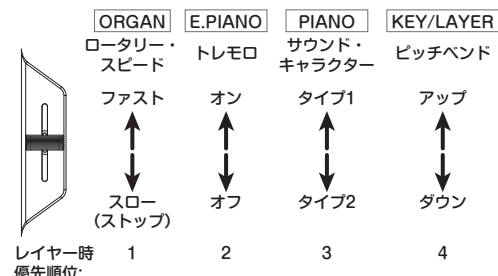
**Note:** この設定はシーンに保存することができます。保存する前に音色を切り替えたり、シーンを切り替えたりすると、プリセット音色の設定のノイズ量にリセットされます。

## PIANO音色のバンド・レバー効果

バンド・レバーを上または下に動かすことによって、音色を変化させます。

Ver. 2.0では、PIANO パートの各音色について、バンド・レバーを上または下に動かすと、音色キャラクターがタイプ1または2に切り替わります。効果は音色ごとに異なります。

PIANO パート: サウンド・キャラクター・タイプ1/2



**Note:** 複数のパートがオンになっているときは(レイヤーまたはスプリット)、次の順番で優先されます。

1. ORGAN、2. E.PIANO、3. PIANO、4. KEY/LAYER

**Note:** バンド・レバーが中央に戻った状態の設定をシーンに登録することができます。

**Tip:** バンド・レバーについては「取扱説明書」9ページを参照してください。

☛ 以前のシステム・バージョンでセーブしたシーンを

Ver.2.0のVOX Continentalにロードした場合、そのシーンのPIANOパートの音色は、バンド・レバーでサウンド・キャラクターを正しくコントロールできません。

サウンド・キャラクターをコントロールするには、PIANO パートのVARIATION ▲、▼ボタンを押してバリエーションを選び直してください。そして必要に応じて保存してください。

## 資料

### 取扱説明書の訂正

VOX Continental Ver.2.0へのアップグレードに伴い、「取扱説明書」、「MIDI設定ガイド」の内容を以下に訂正させていただきます。

#### 取扱説明書

##### 8 ページ 左段下

本書「スプリット(分割)機能」(☞1ページ)を追加します。

##### 8 ページ 右段 1 ~ 17 行目 「2. シーンを選ぶ」

本書「シーンを選ぶ」(☞2ページ)に訂正します。

##### 9 ページ 右段上図

本書「PIANO 音色のバンド・レバー効果」(☞3ページ)の図に訂正します。

##### 9 ページ 右段 6 行目

<正> PIANOパート:サウンド・キャラクター・タイプ1/2  
<誤> PIANOパート:無効

##### 9 ページ 右段 11 行目

<削除> PIANOパートとKEY/LAYERパートをレイヤーにしている場合、バンド・レバーは無効になります。

##### 10 ページ 左段 8 行目

本書「音色パートごとのダンパー設定」(☞2ページ)を追加します。

##### 11 ページ 左段 2 ~ 24 行目 「SCENE 1 ~ 4 ボタンに保存する」

本書「SCENE 1~4ボタンに保存する」(☞3ページ)を参照してください。

##### 23 ページ 左段 10 行目

以下の手順が追加になります(以降の手順番号は順送り)。

1 セーブするシーン・セットを本体で選びます。

##### 23 ページ 右段 25 行目

以下の手順が追加になります(以降の手順番号は順送り)。

1 ロード先のシーン・セットを本体で選びます。

##### 23 ページ 最終行

本書「PIANO 音色のバンド・レバー効果」(☞3ページ)を追加します。

##### 24 ページ 右段 24 行目

<削除>

バンド・レバーは、PIANO パートのバリエーションでは使用できません。

### 25 ページ 「仕様」

		Ver.2.0	Ver.1
音源部	PCMメモリー容量	11.9Gbyte (48kHz・16ビット・リニアPCM換算時)	10.5Gbyte (48kHz・16ビット・リニアPCM換算時)
	プリセット・バリエーション	208	150
	シーン	64 (4x4x4) (プリロード16含む) : USBデバイスに最大100セットまで保存可能	16 (4x4): USBデバイスに最大100セットまで保存可能
コントローラー	バンド・レバー	ORGAN: Rotary Slow/Fast, E.PIANO: トレモロ・オン/オフ、PIANO: サウンド・キャラクター (タイプ1/2)、KEY/LAYER: ピッチ・バンド	ORGAN: Rotary Slow/Fast, E.PIANO: トレモロ・オン/オフ、KEY/LAYER: ピッチ・バンド

### MIDI設定ガイド

#### 8 ページ 27 行目 ~ 9 ページ 4 行目

以下に訂正します。

#### シーンの切り替え

本機のシーンは、プログラム・チェンジで切り替えます。

#### プログラム・チェンジ [Cn, pp]

(n: チャンネル, pp: プログラム・ナンバーで64音色まで選択)

本機のシーンは、以下のプログラム・チェンジに対応します。

シーン・セット1 (A1~D4) : Cn, 00~Cn, 0F

シーン・セット2 (A1~D4) : Cn, 10~Cn, 1F

シーン・セット3 (A1~D4) : Cn, 20~Cn, 2F

シーン・セット4 (A1~D4) : Cn, 30~Cn, 3F

#### 9 ページ 18 行目

<正> 3. PIANO: サウンド・キャラクター・タイプ1/2

<誤> 3. PIANO: 無効

#### 18 ページ MIDI インプリメンテーション・チャート

プログラム・チェンジの送受信の値を以下に訂正します。

プログラム チェンジ:	設定可能範囲	○ 0-63 *****	○ 0-63 0-63
----------------	--------	-----------------	----------------



**Vox Amplification Ltd.**

1 Harrison Close, Knowlhill, Milton Keynes, MK5 8PA. UK

www.voxamps.com